

科目名	英語コミュニケーション論 II	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			国際学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	English Communication Theory II	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	みうら かおる	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	三浦 薫	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	英語学習がうまくいかない理由は、日本語の特性と比較して英語の特性を知らないことに原因があります。ただ丸暗記する、覚える前に、英語とのより良い付き合い方を学びます。			
到達目標	英語コミュニケーション論 I で学んだ英語の特性、英語を母国語とする人の考え方についての発展編です。英語上達法また英語の文法を学ぶ講義ではなく、英語の力を身に着けるため、英語の本質への理解を深める講義です。			
授業概要	英語とはどんな言語か、なぜ冠詞があり、なぜ複数形があるかなどを知ることで、英語コミュニケーションのカギをつかめます。今までの英語学習では、わからなかった英語の謎を知ることができます。			
授業計画				
第1回	挨拶とは			
第2回	疑問文について			
第3回	冠詞と名詞について			
第4回	文の構造について			
第5回	曖昧性について			
第6回	形容詞の使い方			
第7回	英語の音声とつづり字について			
第8回	数の概念について			
第9回	未来表現について			
第10回	名詞化と抽象について			
第11回	否定表現について			
第12回	英語学習法のまとめ①英文読解力について			
第13回	英語学習法のまとめ②英作文について			
第14回	英語学習法のまとめ③リスニングについて			
第15回	英語学習法のまとめ④スピーキングについて			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	本の中の決められた箇所を必ず読んでから (1.5 時間) 自分の意見をまとめて、講義に出席すること 講義で学んだことをまとめ、参考文献として紹介されたものを読んで (1.5 時間) 学んだことを理解、定着させること			
履修条件 受講のルール	文献を読むこと 英語コミュニケーション論 I を履修していることが望ましい			
テキスト	「英語とはどんな言語か」より深く英語をするために 安井稔著 開拓社			
参考文献・資料	講義内で指示します。			
成績評価の方法	試験 60% レポート 30% 小テスト 10% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験			

	を受けることができません。
オフィスアワー	木曜1限、2限
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	いままで小、中、高、大と10年近く勉強してきた「英語」という言語はどんな言語なのか、日本語とどう違うからこんなに難しいのか、を探ってみましょう。